



通信 おおつき和弘

市議会6月定例会報告

DV被害者等に対する「特別応援給付金」の支給のための補正予算(400万円)を可決。

「定額給付金」、「子育て応援特別手当」の受給対象者でありながら、配偶者からの暴力から逃れるために世帯主と別居し、追跡の恐れから住民基本台帳の移動手続きを行うことのできなかつたDV被害者とその同伴者を対象に、緊急生活支援として特別応援給付金(主制度と同額)を支給するもの。

A区の区名を北区とする陳情を否決。

本市の政令指定都市移行に伴う区制導入について、A区に位置する橋本地区の団体から、区名を北区とする陳情が提出された。

区名については、行政区画審議会からA区を緑区とする答申が既に出されている。旧市では橋本地区は北に位置し、公共施設にも北〇〇と命名されているものが多い。

津久井地域との合併による新市一体化の中で、区名については、市民からの区名募集、区名アンケートによる市民の意向と今後の市政を勘案して、行政区画審議会から答申が出されていることを私は重く受け止めた。

6月定例会(議会)は、5月29日から6月30日までの33日間で開催された。提出された案件は、議案7件、議提議案3件、陳情10件、報告3件、監査報告9件。

議案、陳情等は、以下の通り。

- ◇議案第65号(相模大野駅西側地区および田名清水原赤坂地区の地区整備計画区域での建築物の制限を定めるもの)
- ◇議案第66号(グリーンホール相模大野の空気調和設備改修工事の工事請負契約の締結について)
- ◇議案第67号(公共下水道境川第28バイパス雨水幹線整備工事1工区の工事請負契約の締結について)
- ◇議案第68号(公共下水道溝上大野台雨水幹線整備工事1工区の工事請負契約の締結について)
- ◇議案第69号(消防車の消火活動中の物損事故における損害賠償額の決定について)
- ◇議案第70号(平成21年度相模原市一般会計補正予算第2号 DV被害者等に対する「特別応援給付金」の支給について)
- ◇議案第71号(平成21年6月に支給する市一般職の職員の期末手当等および市長等特別職、議員等の期末手当の一部を凍結するための規定の追加について)
- ◇陳情7~10(A区の区名を北区とするもの)
- ◇陳情11(寄付道路に関する経費の市負担について)
- ◇陳情12(肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書の提出を求めるもの)
- ◇陳情13(物価に見合う年金の引き上げを求めるもの)

◇陳情14(高齢者のバス利用補助制度の実施を求めるもの)

◇陳情16(相模原市の政令指定都市の実現に関する意見書の撤回を求めるもの)

◇陳情17(2009年度の神奈川県最低賃金の諮問・改定について、国へ意見書の提出を求めるもの)

◇議提議案4(基地対策予算の増額を求める意見書)

◇議提議案5(肝炎対策のための基本法制定を求める意見書)

◇議提議案6(神奈川県最低賃金改定等に関する意見書)
以上、採決は5月29日および6月30日に行われた。
(詳細は議会だより参照)

委員会審査(総務委員会)

私は、今年度総務委員会所属。今議会に提案された議案等の内、総務委員会へ付託されたものは、議案第66号および69号の2件。

66号では、グリーンホール相模大野の改修工事の全体像、環境対策への配慮と共に、工事期間中の市民の利便性確保策や入札制度の透明制確保策などが質議された。

69号では、事故の経緯(消防車が消火活動に入る際に、サイドフレイキを掛けたものの、オートマシフトをドライブにしたままポンプを作動したために、回転数が上がり車輪が前進し鶏舎にぶつかり被害を発生させた)、基本的な作業手順や安全管理体制が問われ、具体的な改善策と共に、消防行政全般の管理体制が質議された。

お年寄りにやさしいバス対策。 不安のない救急医療体制の充実。

私は、議員の権利である本会議や委員会での発言を最大限利用して、公約の実現に邁進しております。今回の一般質問では、市民の安全安心の確保策としての、防災対策（住宅耐震化・下水道の耐震化）・救急医療体制の充実策・バス利用環境の整備について本市の対策を質しました。

① 防災：地震対策の キモは耐震化

- (1) 住宅耐震化の促進策について
住宅・建物の耐震化が最大の防災対策という考えが確立している。しかし、市民の地震への関心は今一つ低く、また、昨今の経済状況から耐震化は思うように進んでいない状況が伺える。そこで、住宅耐震化に向けた制度の充実が必要だ。
- 昭和56年の建築基準法改正以降に増築を行った住宅も、補助の対象に加えるべきだ。
 - 耐震診断および耐震改修工事への補助支援幅の拡充による市民の負担軽減と、耐震工事の創出による景気浮揚効果を考えるべきだ。
 - 高齢者や障害者は地震発生時に自力での避難が難しい。耐震改修補助金の加算による積極的な支援をすべきだ。
 - 大和市では、固定資産税等の全額免除により耐震化の促進を図っている。優遇税制の拡大が必要である。
- (2) 公共下水道の防災対策について
○ 被害に起因する重大な影響から、国は下水道の耐震化を求めている。市長の下水道の耐震化への考え方はどうか。
また、本市の下水道施設の耐震化をどのように進めるのか。

③ お年寄りにもやさしい バス利用環境の整備

- (1) 駅周辺やバスステーションのバリアフリー化が進む中で、その端緒となるバス停の改良は高齢化の進捗という側面からも早急な改善が求められる。バス利用者の利便性の向上と乗降時間の短縮のため、乗降方式の統一やバリアフリー化を含めたバス停改修が必要と考えるが状況は。
- (2) バス停の上屋やベンチなどバス待ち環境の整備は利用促進にもつながる重要なものと考えているが、市の基本的な考え方および整備状況について伺う。
- (3) 既存バス路線の今後の見通しは。

② 救急車は来たけど なぜ出発しないの？

- (1) 救急車の適正利用に向けた対策について
○ 平成20年中に搬送された26,222人のうち53.7%が軽傷者であり、中には救急車の正しくない利用と考えるものも含まれていると考えるが、本市の救急車の適正な利用に向けた啓発活動などの取り組みはどうか。
○ 現場での搬送トリアージなど具体的な抑制策はどうか。
- (2) 市民にとって不安のない救急体制の充実のために、救急電話相談体制が必要だ。
相模原救急医療情報センターの機能の充実や、救急安心センターなどの新たな体制の整備についての見解は。
- (3) 救急搬送の時間短縮に向けては、現場の救急隊員の活動時間の短縮と共に、受入医療機関の照会作業の効率化が必用である。実効性ある病院照会サポートシステムの構築を図る考えは。
- (4) 今後の救急医療の需要を見据えた救急医療体制の充実策は。

「バス停が怖い」を改善したい。



深堀バス停（東林間）
バス乗降時の歩道沿石の
段差がお年寄りには危険。
車椅子利用の方は、乗降
できない。そこで、段差
の切り下げ工事により、
安全性を確保。

バリアフリー化のため
整備する必要があるバス停
は、市内全域で215箇所。
病院、福祉施設、公共施設
に隣接するバス停から整備。
平成24年度までに完了する予定。

